

# 番 犬



久松 ゾロ

## スタッフ構成

ラブラトール・レトリバー 1頭

## 業 務 内 容

- ①番犬
- ②カウンセリング（傾聴のみ）
- ③夜勤の職員に寄り添う。
- ④散歩
- ⑥予防接種を受ける
- ⑦トリミングのカットモデル

## 平成 22 年度の目標

- ①えさを美味しく食べる。
- ②職員を散歩に連れて行き気分転換をはかる。
- ③逃亡しない
- ④首輪をはずさない。



▲幼少のころ（生後3ヶ月ぐらい）

## 平成 22 年度の反省

平成 17 年に岡山県にて誕生し、平成 22 年 4 月で 5 歳になりました。サポートセンター開所以来、お世話になっておりますが、今年度は小園師長さんの異動という大きな出来事がありました。これまで、まるで息子（夫？）に接するかのよう散歩やらなんやらして下さっていた小園師長さんの晴天の霹靂とも言える OPE 室への異動でしたが、代わりに赴任された門松師長さんのご尽力によりこれまで同様に充実した日々をおくらせていただきました。門松師長さんの異動当初は私に対するへっぴり腰ぶりに、大丈夫か？という感じでいらっしゃいましたが、大型犬への恐怖心を克服された今では、すこぶる良好な関係を構築させていただいていると感じるところです。

秋口には自宅にて、えさ袋を噛み切って穴を開け、食べすぎて嘔吐し、「何か悪い病気ではなからうか」と皆様にご心配をおかけしてしまった事件がございました。しかしながら食べ過ぎて吐くのは当たり前のことでありまして、その後はいたって健康体が自慢です。原因が分かった後さんざん院長に叱られまして、深く反省しているところです。

また、逃亡についてですが、首輪をはずさないという目標とも関連しますが、やはり暇で暇でしようがないと「ちょっと首輪抜けでもしてみようかい」という気持ちになり、ついつい紐の高さと首の角度を微妙に調整しつつ首輪から頭を抜くという高度なテクニックを使い、何度か首輪抜けを行ってしまいました。福永主任からは「すごい技です」と褒められるほどで、一度皆さんにもお見せできればと思っています。以前は肉の匂いにつられて夾竹園まで逃亡したこともありましたが、探してくださる職員の皆さんの体力の限界もありますし、どうせ肉ももらえないし、ということで 21 年度は遠くまで足を延ばさないように努めました。

今後は、トリミングのモデルとしての仕事も加わりましたので、外見にも気を配り愛想もよくして犬好きのご利用者の獲得に向けて、いつもお世話になっている職員の皆さんのノルマ達成に貢献できればと考えております。